

研究課題名「重症虚血肢に対する Distal bypass 術後、グラフト修復の予測因子の検討」に関する情報公開

1．研究の対象

2011年1月から2018年12月までの間に、膝下へのバイパス手術を行った重症虚血肢患者を対象とします。

2．研究目的・方法・研究期間

重症虚血肢に対する自家静脈を使用した外科的血行再建は依然として標準治療の一つですが、術後に静脈グラフトの狭窄や閉塞のために再治療を受ける方がいます。Global Vascular Guidelines は Global Anatomic Staging System (GLASS 分類)を提唱しました。GLASS 分類は、EVT が技術的に可能な病変かどうかを判断するための分類であり、鼠径靭帯以下の target artery path の閉塞病変の状況に関する情報を提供しています。バイパス術後の再治療と GLASS 分類との関連を報告した報告はありません。再治療と GLASS 分類の関係あるいは、再治療を行う症例の予測因子を明らかにできれば、治療方針決定の一助となります。本研究の目的は再治療の予測因子の検討と膝下への Distal bypass を行った患者において GLASS 分類が再治療に与える影響を調べる事です。

3．研究に用いる試料・情報の種類

病歴、血液検査結果、画像情報、カルテ番号、追加処置 等

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 血管外科 川井 陽平

電話 052-744-2224、ファックス 052-744-2226